

地区別行政懇談会

対話行政の一環として



説明する齊藤町長

十月、十一月の二カ月間に四回にわたり、町民会館で地区別行政懇談会が行なわれました。これは、齊藤町長が推進してきている対話行政の一環として行なわれたもので、行政委員、組長、各地区議会議員の方がた

一五〇人が参加しました。始めに町長から、町の将来計画図により、町の現況から将来への構想についての説明があり、ひき続いて各集落からの要望や質問などが出されました。要望等の主なものは、道路整備、家庭用雑排水などの環境整備に関する問題で、町長は「すぐ実行できるもの、また、計画的に行なっていくかなければならないものなどさまざまですが、できるだけ早くみなさんの要望にそった事業の実施をしていきたい。」と答弁していました。



東陽地区行政懇談会

故越川 伸氏に

勲五等双光旭日章

故・越川伸氏に、勲五等双光旭日章が授与されました。

越川伸氏は、昭和二十一年四月から、四十有余年にわたり学校医として、地域児童、生徒の健康増進に多大なご尽力をされてきました。この功績により今回の授与となりました。

雇用管理協議会——町長と語る

十月二十日に役場で、町と雇用管理協議会（事務局商工会）

による町長と語る会が行なわれました。



雇用管理協議会（事務局商工会）による町長と語る会

—体の不自由な方たちが— スポーツ大会



主催 社会福祉協議会

十一月十九日、町営グラウンドで体の不自由な方たちのスポーツ大会が行なわれました。絶好のスポーツ日和に恵まれ、参加した三十一人はソフトボール投げ、立巾跳、けつ圧競争、スプーンレースなどの競技に心地良い汗を流しました。また、昼食

これは始めて開かれたもので町内の雇用管理協議会加入の事業所から代表者十三人が出席し町長、商工会、役場商工担当者と、これからの商工業の在り方や町への要望など、活発な意見の交換がされました。

また、篠本工業団地への工場誘致についての質問も出され、町長は「町民の皆さんの良い雇用の場となるような優良企業を誘致したい」と述べました。

参加した方がたは、「町内の商工業者に目が向けられたことをうれしく思う。この会をこれからもずっと続けていってほしい。」と話していました。

時には、光扇会の方たちの踊りが披露されるなど楽しい一日となりました。

参加された方たちは、「最初は来ようか、どうしようか迷ったけど来てよかった。」「外に出ることを少しおっくうにしていたけれど、天気もいいし、何かすっきりした気分になったね」「お弁当もとってもおいしかったし踊りも見せてもらって。」とうれしそうに話してくれました。